

質問の件名及び質問の要旨 (質問時間)	答弁を求める者
<p>1 子どもの虫歯予防について (40分)</p> <p>子どもは虫歯になりやすいことで知られています。その理由の一つが、生えて間もない歯は、十分に硬くなっておらず、石灰化が完全にすすむまでに生えてから2～4年かかること。また、砂糖を含んだ飲食物を好むことも要因としてあげられます。</p> <p>虫歯は、歯の表面のエナメル質が酸によって溶ける「脱灰」によって起こります。「脱灰」は、食事などによって日常的に発生しますが、唾液に含まれるカルシウムやリン酸イオン、重炭酸イオンが酸を中和させ、歯のエナメル質を修復する「再石灰化」によって歯が守られています。</p> <p>したがって虫歯を予防するには、「規則正しい食事」「よく噛んで唾液の分泌を促す」など日常の食生活に気を付けるとともに、「食べた後はブラッシングなどで口の中をきれいにする」必要がありますが、乳幼児では食事やおやつ回数が多くなったり、学童期では食事のあとに歯を磨くことが難しかったりと、どうしても虫歯が発生しやすい環境にあります。</p> <p>比企郡吉見町では、1歳2～3ヶ月から3歳児健診受診時までの子どもを対象に、住民ボランティア団体の「O8 (よいは)の会」に協力を得ながら「フッ素塗布」事業を行っています。また、町内の全保育所、幼稚園、小・中学校において「フッ化物洗口」を実施するなど、積極的に子どもの虫歯予防に取り組み、着実に成果をあげています。</p> <p>高齢化が進んでいるなかで、心身ともに健康で快適な生活を送るために健康な歯を保持することは重要であり、国や県においても「8020運動」を推進しています。生涯健康な歯を保持するための基礎となる乳幼児期から学童期において、虫歯予防にしっかりと取り組むことが求められます。</p> <p>このような観点から、本市の子どもの虫歯の現状と予防への取り組みについて質問します。</p> <p>(1) 乳幼児期における虫歯の状況と予防への取り組みについて。</p> <p>ア 本市の3歳児の虫歯の現状は</p> <p>イ 本市の母子保健事業における虫歯予防の取り組みは</p>	<p>市長 教育委員会 委員長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>(2) 学童期における虫歯の状況と予防への取り組みについて。</p> <p>ア 就学時健診時における虫歯の現状は</p> <p>イ 12歳児における虫歯の現状は</p> <p>ウ 小・中学校における歯科保健活動の現状と虫歯予防への取り組みは</p> <p>(3) 保健センターにおける歯科衛生士の配置状況と業務内容は。</p> <p>(4) 子どもの虫歯予防について、歯科医師会との協議等行われていますか。</p> <p>(5) 小中学校において「フッ化物洗口」を実施することに対する市のご見解を伺います。</p>	